

令和7年度 全国学力・学習状況調査 結果概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象・内容、調査期日

○ 調査対象・内容

(1) 小学校

ア 対象 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 内容 国語、算数、理科、児童質問調査

(2) 中学校

ア 対象 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

イ 内容 国語、数学、理科（C B T：コンピュータ使用型調査）、生徒質問調査

※ 学校質問調査を併せて実施

○ 調査期日 令和7年4月17日（木）

※ 児童質問調査、中学校理科・生徒質問調査、学校質問調査は、文部科学省が指定した期日・期間に学校ごとに実施

3 調査を実施した学校・児童生徒数

小学校	学校数（校）	児童数（人）		
		国語	算数	理科
茨城県	447	21,090	21,082	21,105
全国（公立）	18,265	936,137	936,399	936,576

中学校	学校数（校）	生徒数（人）		
		国語	数学	理科
茨城県	228	20,882	20,892	20,856
全国（公立）	9,244	870,560	871,097	864,634

4 結果一覧

（％：平均正答率、中学校理科はI R Tスコア） ※I R T：項目反応理論（国際的な学力調査で採用されているテスト理論）

	小学校調査			中学校調査		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
茨城県	67%	57%	59%	55%	50%	508
全国（公立）	66.8%	58.0%	57.1%	54.3%	48.3%	503
順位	15位	23位	9位	7位	8位	9位

【参考】前回調査（令和6年度）の結果

★理科は3年に一度の実施のため令和4年度の結果

	小学校調査			中学校調査		
	国語	算数	理科★	国語	数学	理科★
茨城県	67%	62%	64%	59%	51%	50%
全国（公立）	67.7%	63.4%	63.3%	58.1%	52.5%	49.3%
順位	23位	25位	10位	7位	23位	10位

※ 順位については、国から提供された都道府県の平均正答率をもとに県が算出

※ 都道府県別の教科の平均正答率は、国から小数点以下を四捨五入した整数値で提供されている。

5 教科に関する調査の結果概況

〔資料の見方〕

- ◇は比較的できている点、◆は課題のある点を示しています。
- 比較的にできている点については、本県において正答率が高い順に二つ示しています。課題のある点については、本県の学力向上施策に照らし、課題と捉えた順に主な二つを示しています。

【小学校】国語 結果の概況

- ◇図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができている。
(2)二 県 82.0% 国 81.8%)
- ◇時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができている。
(3)二(1) 県 81.4% 国 81.6%)
- ◆目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。
(3)三(1) 県 39.9% 国 40.8%)
- ◆事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題がある。
(3)二(2) 県 50.1% 国 51.3%)

学習指導要領の内容、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

分類	区分 (問題数)		平均正答率 (%)	
			茨城県	全国
学習指導要領 の内容	知・技	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)	74.2	76.9
		(2)情報の扱い方に関する事項 (1)	64.9	63.1
		(3)我が国の言語文化に関する事項 (1)	80.7	81.2
	思・判・表	A 話すこと・聞くこと (3)	66.4	66.3
		B 書くこと (3)	71.9	69.5
		C 読むこと (4)	57.2	57.5
評価の観点	知識・技能 (4)		73.5	74.5
	思考・判断・表現 (10)		64.4	63.8

【中学校】国語 結果の概況

- ◇文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができている。
(3)二 県 89.5% 国 89.9%)
- ◇目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができている。
(1)二 県 83.2% 国 82.5%)
- ◆文脈に即して漢字を正しく使うことに課題がある。
(1)一 県 34.0% 国 35.2%)
- ◆文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題がある。
(3)四 県 15.8% 国 17.1%)

学習指導要領の内容、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

分類	区分 (問題数)		平均正答率 (%)	
			茨城県	全国
学習指導要領 の内容	知・技	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)	48.5	48.1
		(2)情報の扱い方に関する事項 (0)		
		(3)我が国の言語文化に関する事項 (0)		
	思・判・表	A 話すこと・聞くこと (4)	55.9	53.2
		B 書くこと (5)	51.7	52.8
		C 読むこと (3)	61.7	62.3
評価の観点	知識・技能 (2)		48.5	48.1
	思考・判断・表現 (12)		55.6	55.3

【小学校】算数 結果の概況			
◇角の大きさについて理解することができている。	(2)	(3)	県 81.1% 国 79.3%
◇伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことはできている。	(4)	(1)	県 81.0% 国 82.8%
◆目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を記述することに課題がある。	(1)	(2)	県 31.7% 国 31.0%
◆台形の意味や性質について理解することに課題がある。	(2)	(2)	県 47.1% 国 50.2%

学習指導要領の領域、評価の観点ごとの平均正答率（％）

分類	区分（問題数）	平均正答率（％）	
		茨城県	全国
学習指導要領の領域	A 数と計算(8)	61.1	62.3
	B 図形(4)	56.3	56.2
	C 測定(2)	53.3	54.8
	C 変化と関係(3)	55.6	57.5
	D データの活用(5)	62.2	62.6
評価の観点	知識・技能(9)	65.2	65.5
	思考・判断・表現(7)	47.5	48.3

【中学校】数学 結果の概況			
◇必ず起こる事柄の確率について理解できている。	(7)	(1)	県 76.8% 国 77.4%
◇事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができている。	(8)	(1)	県 72.9% 国 71.9%
◆一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることに課題がある。	(4)		県 38.5% 国 34.7%
◆式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。	(6)	(2)	県 26.4% 国 25.7%

学習指導要領の領域、評価の観点ごとの平均正答率（％）

分類	区分（問題数）	平均正答率（％）	
		茨城県	全国
学習指導要領の領域	A 数と式(5)	46.4	43.5
	B 図形(4)	45.3	46.5
	C 関数(3)	49.9	48.2
	D データの活用(3)	61.6	58.6
評価の観点	知識・技能(9)	57.3	54.4
	思考・判断・表現(6)	38.7	39.1

【小学校】理科 結果の概況

- ◇電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることが知識として身に付いている。
(2)(3) 県 80.2% 国 78.0%)
- ◇変える条件と変えない条件を整理しながら、赤玉土の量と水の量を正しく設定した解決の方法を
発想し、表現することができている。
(1)(1) 県 78.4% 国 79.5%)
- ◆電気を通す物と磁石に引き付けられる物に関する知識を身に付けることに課題がある。
(2)(1) 県 12.7% 国 10.6%)
- ◆レタスの種子の発芽の条件について、既習の植物の発芽の条件との差異点や共通点を基に、新たな
問題を見だし、表現することに課題がある。
(3)(4) 県 33.6% 国 29.9%)

学習指導要領の区分・領域、評価の観点ごとの平均正答率（％）

分類		区分（問題数）	平均正答率（％）	
			茨城県	全国
学習指導要領の 区分・領域	A 区分	「エネルギー」を柱とする領域(4)	49.8	46.7
		「粒子」を柱とする領域(6)	51.4	51.4
	B 区分	「生命」を柱とする領域(4)	55.4	52.0
		「地球」を柱とする領域(6)	67.4	66.7
評価の観点	知識・技能(8)		58.0	55.3
	思考・判断・表現(9)		59.2	58.7

【中学校】理科 結果の概況（公開問題の結果から）

- ◇まとめを行う場面で、収集する資料や情報の信頼性についての知識及び技能が身に付いている。
(2)(2) 県 93.9% 国 94.6%)
- ◇実験器具の操作等に関する技能が身に付いている。
(5)(1) 県 92.4% 国 93.0%)
- ◆音に関する知識を基に、変える条件に着目した実験を計画することに課題がある。
(2)(1) 県 14.6% 国 14.0%)
- ◆ボーリング調査の結果と関連付けて、地層の広がりを検討して表現することに課題がある。
(8)(2) 県 18.3% 国 18.1%)

問題ごとの平均正答数

公開問題の 設問番号	学習指導要領の領域	設問数 (問)	茨城県 (問)	全国 (問)	茨城県の 対象生徒数 (人)	全国の 対象生徒数 (人)
【1】	エネルギー、粒子、生命、地球	6	2.9	2.9	20,856	864,634
【2】 【9】	エネルギー 地球	4	2.1	2.0	4,020	203,127
【5】 【8】	粒子 地球	4	1.9	1.9	5,544	220,309
【3】 【6】	エネルギー 生命	4	2.3	2.3	6,248	220,884
【4】 【7】	粒子 粒子、生命	4	2.3	2.3	5,044	220,314

※ 中学校理科は、調査日を4日に分散してC B T方式で実施されたため、問題セットごとの対象生徒数が異なる。

※ 問題は、公開問題と非公開問題を組み合わせて構成されている。

【1】…全日程に共通する問題 【2】～【9】…実施日により異なる問題

6 教科に関する児童生徒質問調査結果

※「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

	国語の勉強は好き		国語の授業内容はよく分かる		国語の学習は将来に役立つ	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
茨城県	60.7%	60.2%	84.4%	80.2%	91.0%	88.9%
全国	58.3%	57.9%	82.8%	77.0%	90.4%	88.3%

	算数・数学の勉強は好き		算数・数学の授業内容はよく分かる		算数・数学の学習は将来に役立つ	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
茨城県	58.0%	53.6%	78.8%	70.4%	91.6%	76.4%
全国	57.9%	53.8%	78.3%	70.3%	91.6%	75.2%

	理科の勉強は好き		理科の授業内容はよく分かる		理科の学習は将来に役立つ	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
茨城県	84.6%	68.2%	91.6%	75.2%	82.3%	66.6%
全国	80.1%	63.8%	88.9%	71.4%	79.9%	63.4%

- ・国語については、上記の全ての質問で全国を上回る結果であった。
- ・算数については、「勉強は好き」が全国を上回った。一方で、数学については、「勉強は好き」が全国を下回った。算数・数学ともに「授業内容はよく分かる」、「将来役立つ学習である」という意識については、全国と同等、もしくは上回る結果であった。
- ・理科については、上記の全ての質問で全国を上回る結果であった。

○ 令和7年度全国学力・学習状況調査における教科に関する調査問題、正答例、解説資料、質問調査については、国立教育政策研究所のホームページを参照してください。

<https://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html>

7 生活習慣や学習環境に関する児童生徒・学校質問調査の結果

児童生徒質問調査より

○ 全国の児童生徒数の割合を上回った主な事項

・ 基本的生活習慣等

(「している」、「どちらかといえば、している」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.0%	81.9%	81.2%	81.0%

・ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等

(「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
将来の夢や目標を持っていますか	85.2%	83.1%	69.3%	67.5%
学校に行くのは楽しいと思いますか	87.8%	86.5%	86.3%	86.1%

・ 学習習慣、学習環境等

(「できている」、「どちらかといえば、できている」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	82.7%	81.7%	78.7%	77.5%

・ 地域や社会に関わる活動の状況等

(「当てはまる(よくしていた)」、「どちらかといえば、当てはまる(ときどきしていた)」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	82.0%	81.3%	75.7%	75.3%
これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか	81.7%	80.6%	76.5%	75.7%

・ ICTを活用した学習状況

(「とてもそう思う」、「そう思う」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると感じますか	79.2%	76.7%	80.4%	76.6%

・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

(「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	78.9%	77.8%	73.3%	70.6%
5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	81.1%	80.3%	79.3%	77.7%

▼ 全国の児童生徒数の割合を下回った主な事項

・ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等

(「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	86.5%	86.9%	85.8%	86.2%
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	70.1%	70.6%	71.9%	73.2%

・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

(「発表していた」、「どちらかといえば、発表していた」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	68.6%	68.6%	62.5%	63.0%

学校質問調査より

○ 全国の学校数の割合を上回った主な事項

- ・学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況

(「よくしている」、「どちらかといえば、している」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか	98.7%	96.3%	98.2%	94.7%

- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善への取組状況

(「そう思う(よく行った)」、「どちらかといえば、そう思う(行った)」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	94.7%	89.3%	93.4%	88.2%
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	92.6%	88.6%	93.5%	86.8%
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	92.4%	86.9%	89.1%	80.3%

- ・総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童(生徒)に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	98.4%	92.7%	96.5%	91.5%

- ・国語科の指導方法

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童(生徒)に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書く(文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える)ことができるような指導を行いましたか	98.0%	95.8%	99.5%	97.8%

- ・算数・数学科の指導方法

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の授業において、前年度までに、日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行いましたか	95.3%	91.3%	96.9%	89.6%

- ・理科の指導方法

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の授業において、前年度までに、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか	98.0%	95.0%	97.4%	96.2%

- ・ICTを活用した学習状況

(「ほぼ毎日」、「週3回以上」「週1回以上」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	88.6%	81.2%	92.5%	81.3%

▼ 全国の学校数の割合を下回った主な事項

- ・教職員の資質向上に関する状況

(「よくしている」、「どちらかといえば、している」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校	
	茨城県	全国
授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	98.4%	98.6%

- ・小学校教育と中学校教育の連携

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質 問 事 項	中学校	
	茨城県	全国
前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか	68.4%	71.7%